

沖縄 OKINAWA TIMES タイムス

2020年 5月9日 土曜日

(令和2年)

【旧4月17日・友引】

2020年(令和2年) 5月9日土曜日 1版 社 会 22

中国からマスク287万枚

方さん調達 人脈生かし県内外へ

日本政府が全世帯に配る予定の布マスクが届かない中、布より新型コロナウイルスを防ぐ効果があるときされる不織布マスクを中国から287万枚調達し、県内外に無償提供したり、安価で販売したりした男性がいる。入手が難しいとされる不織布マスクをどのように大量調達したのか。入手までの経緯を聞いた。



男性は、貿易業を営むビ

ンコウホールディングス

(那覇市)の方徳輝代表(47)

写真。出身の中国からマ

スクを輸入、3月末から卸

売りを始めた。もともと同

社はマスクを扱っていなか

ったが、3月頃から県内

の感染者急増に伴い「いろ

んな所からマスクが欲しい

と頼まれた」。

急ぎよ人脈を生かし、重

慶市の工場から医療用マス

ク3万枚を調達。県医師会

などに計1万枚を提供した

ほか、東京などにも販売し

た。実家のある福建省から

入手した不織布マスク65

00枚は母校の沖縄国際大

などにも寄付した。

寄付の新聞報道後、マス

ク不足で困る県内の医療機

関などから問い合わせが増

えた。欧米で感染者が急増

し、世界中から中国にマス

クの注文が殺到して品薄が

続く中、方さんは沖縄と友

好県省を結ぶ地元の福建省

の福州市に目を向けた。

「市の関係者に正規品マ

スク製造企業を紹介しても

らい、何とか調達できた。

輸入したマスクを市場価格

の半値近くで県内外に販

売。方さんは「マスク不足

でみんなが困っている。納

品したら感謝され、役に立

ていることを幸せに感じ

る」と目を細めた。

方さんは、日本政府が不

織布マスクではなく布マス

クを全世帯に配る感染予防

対策について「日本政府は中国との経済交流の関係をどこまで生かしているのか」と首をかしげる。

厚生労働省の担当者は不織布マスクを配布しなかった理由を「全世帯分の確保は難しかった」と説明。方さんは「諸外国は中国から競うように入手に努めた。日本政府は、もう少し努力すべきだったので」と指摘した。(社会部・徐潮)